



社会福祉
法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより

2011年(平成23年)10月31日

第54号

発行 社会福祉法人 豊中市社会福祉協議会

ボランティアセンターだより編集委員会

〒560-0023 豊中市岡上の町 2-1-15

TEL (6848) 1000 FAX (6848) 1005

URL: <http://www3.ocn.ne.jp/~tcpvc>

東日本大震災 支援活動の記録

3月11日に発生した東日本大震災と津波被害を受けた東京電力福島第1原発事故により日本はこれまでにない困難に直面しています。死者15,821名、行方不明3,962名(10月3日現在警察庁まとめ)という人的な被害も多大ですが、町ごと津波にさらわれるなど物的な被害も計り知れません。

しかし、このような悲慘な状況のなか、ボランティアは9月25日現在で、岩手・宮城・福島3県各地の震災ボランティアセンターの登録・活動者数が延べ76万7千人を超えており、「絆」や「支え合い」という気持ちも一層強く感じられます。

復興までにはまだまだ長い道のりが必要ですが、市社協としても微力ながらこれまでに取り組んできた支援活動の記録を一部お伝えします。

3月



街頭募金で善意に感謝



避難被災者の方を訪問し
支援品の提供



被災者激励の集い

- | | |
|--------|--|
| 11日(金) | 東日本大震災 発生 |
| 12日(土) | 豊中市社協災害支援対策本部設置 |
| 14日(月) | 災害支援ボランティアセンター設置
市社協災害支援ネットワーク緊急会議
阪急豊中駅で街頭募金活動(196,752円)
募金箱の設置
(市社協事務局・ぷらっと・福祉の店「なかま」) |
| 15日(火) | 阪急岡町駅で街頭募金活動(213,827円)
阪急庄内駅で街頭募金活動(388,254円) |
| 16日(水) | 阪急服部駅で街頭募金活動(490,892円)
北急千里中央駅で街頭募金活動(755,835円) |
| 17日(木) | 阪急蛍池駅で街頭募金活動(326,591円)
阪急曽根駅で街頭募金活動(492,337円) |
| 18日(金) | 北急桃山台駅で街頭募金活動(396,478円)
阪急豊中駅で街頭募金活動(353,210円) |
| 19日(土) | 北急緑地公園駅で街頭募金活動(299,279円)
職員2名を宮城県に派遣(～21日) |
| 28日(月) | 被災者受入救援物資を募集(校区福祉委員会)
阪急豊中駅で街頭募金活動(78,000円) |
| 29日(火) | ※市営住宅で被災者の受入開始
避難された被災者への支援
①日用品の提供(北生協より米)
②炊飯器・照明器具の提供(電気事業組合豊中支部より)
③地域の生活情報を案内 |

4月



ボランティアさんの協力で
救援物資の受付

- 7日(木) 被災者激励の集い
【校区福祉委員会の協力で避難被災者同士の交流と情報交換を開催】
- 18日(月) 救援物資の受付(～28日)
【校区福祉委員会・ボランティア団体連絡会等の協力で市民向けに物資の品目を限定して募集、物資提供262名、ボランティア協力のべ319名、石巻市などに送付】
- 28日(木) 文房具の救援物資を送付
【豊中市内の52小中学校の協力により集まった文房具194箱分を宮城県・福島県の68小中学校へ送付】

5月

- 2日(月) 東日本大震災支援金の受付開始
職員3名を宮城県に派遣(～4日)
- 17日(火) 職員2名を宮城県に派遣(～24日)
- 23日(月) 職員3名を宮城県に派遣(～28日)



小学生がお気に入りの
文房具を寄付

6月



6/7講演会に約80名の
参加

- 7日(火) 企業・団体ボランティアネットワークとよなか
平成23年度総会 講演会の開催
【「東日本大震災被災地の今…私たちになにができるか」】
- 11日(土) 箕面温泉でこころも体も元気にリフレッシュ交流会の実施
【箕面・池田・豊中の3市社協が合同で避難被災者同士の交流会を実施】
- 16日(木) 支援物資の虫よけジェルと乾電池を送付
【大日本除虫菊株式会社の提供で152箱を宮城県・岩手県の30社協へ送付】

7月



チャリティバザー大盛況

- 5日(火) 支援物資のマスクを送付
【大人用60箱を宮城県・岩手県の30社協へ、子ども用26箱を宮城県内の26小学校へ送付】
- 9日(土) 東日本大震災復興支援バザーを開催
【企業・団体ボランティアネットワークとよなか主催でチャリティーバザーと東北の物産展を実施、バザーの収益金197,035円は全額支援金として寄付】
避難被災者の交流会(第3弾)
【情報交換、行政相談員による避難者支援の為の相談会】
- 12日(火) 職員1名を宮城県・岩手県に派遣(～14日)
- 27日(水) 東日本大震災復興支援豊中プロジェクト事業
【国の「新しい公共」の助成金を受け、行政・大学・NPO・民生委員・校区福祉委員会が協働で、継続的支援を現地と連携し地域ぐるみで行うことを目的に発足】
☆次ページ下段に関連記事



物産展で東北応援!

8月



熱中症対策にスポーツドリンクパウダーを提供



8/29講演会に約140名の参加

9月



熱中飴で被災地のボランティアを支援



「小さな手」の手作りビーズマットも避難所で喜ばれ…



ボランティアバスで桜塚高校生が大活躍



大槌高校との交流(ボランティアバス)

- 5日(金) 避難被災者へ生活必需品を贈呈
【豊中ロータリークラブの協力により自転車などの生活用品から1点希望のものを贈呈し、懇談会も実施】
- 10日(水) 支援物資のスポーツドリンクパウダーを送付
【60箱を宮城県・岩手県の21社協へ送付】
- 25日(木) 岩手県大槌町支援ボランティアバスの運行(～28日)
【桜塚高校の生徒有志と市・市社協職員の35名で実施】
- 29日(月) 東日本大震災復興支援豊中プロジェクト事業 被災地からのメッセージイベント第1弾シンポジウム開催
「老人ホームに大津波襲来！」
職員はその時なにができたのか…」
【宮城県名取市関上地区にある特養「うらやす」の施設長を招き、『施設の危機管理と要援護者の避難支援を考える』をテーマに講演会を開催】

- 6日(火) 支援物資の熱中飴(塩飴)を送付
【井関食品(株)の協力で140箱を宮城県・岩手県の10社協へ送付】
- 12日(月) 第2回東日本大震災復興支援豊中プロジェクト会議を開催
- 22日(木) 福島からの避難被災者交流会(第4弾)

～東日本大震災復興支援豊中プロジェクト事業～

このプロジェクトは復興への継続支援とともに、被災地の教訓から学び震災に強い街づくりを行うための支援方策を検討していきます。また、豊中市に避難されている方々の孤立防止やパーソナルサポートを行う中で支援のあり方を検討することも目的としています。

《今後の予定》

・フォーラム「無縁社会への挑戦」

日時：12月17日(土) 14時～18時

場所：豊中人権まちづくりセンターホール(岡町北3-13-7)

内容：①第1部(14時～)パネルディスカッション

「豊中の安心生活創造事業で挑戦したこと」

②第2部(16時～)講演「パーソナルサポートが目指すもの」

(講師：内閣府参与 湯浅誠さん)

パネルディスカッション

・講演会

日時：1月13日(金) 13時半～15時半

場所：アクア文化ホール(曾根東町3-7-2)

内容：陸前高田市 戸羽市長のお話 など

陸前高田市 希望の一本松→





和歌山県新宮市支援ボランティアバス



ぬかるんだ足元での作業に奮闘しました

依頼者の方より大変嬉しい
お礼のお手紙が届きました



最後に記念撮影をして絆を大切に…

9月初めに発生した台風12号により奈良県・三重県・和歌山県など近畿地方を中心に甚大な被害がもたらされました。

そこで、豊中市社協では9月12日～16日の間、和歌山県日高川町社協の災害ボランティアセンターへ職員を1名派遣し、災害ボランティアセンターの運営を支援しました。その後、同じ和歌山県の新宮市で多くのボランティアを必要とされていることから、ボランティアバスを運行することとなりました。

このたびのボランティアバスは、市社協災害支援ネットワークの加盟団体である大阪大学ボランティアサークルのフロンティアを中心に呼びかけ、登録ボランティアも含め13名の若者ボランティアと事務局職員3名で10月8日（土）に実施しました。当日は早朝6時にすこやかプラザを出発し、マイクロバスで4時間の道のりを経て活動先の熊野川サテライトに到着しました。熊野川町は新宮市内でも特に被害が著しく、また、新宮市から離れた地域でもあった為、災害ボランティアセンターをサテライトとして運営されています。住民の大部分が高齢者という集落も多く、ボランティアの力無くしては支援が進まないという現状でした。

この日の活動は、依頼のあった方のご自宅へ伺い、床下の泥出しと屋外で散乱している流出した家財道具などを集積することでした。日頃使われていたものや、思い出の品々が泥の中から見つかる度に、台風の凄まじさを感じ、そこで暮らしておられた方の悲しみも伝わってくるようでした。依頼者は、高齢の方でしたが片付けの間もじっと作業を見守っておられ、家族の思い出の品が出てきた時は大変喜んで受け取ってくださいました。活動としては数時間の短い間でしたが、命からがら避難されたお話や今後の生活の不安なども聴かせていただき、単なる片付けのお手伝いだけでなく少しでもお気持ちに寄り添うことができたのではと感じました。

帰路ではそれぞれの想いを胸に無事すこやかプラザへ到着し、行程を終えることができました。

～参加者の感想～

- ・ボランティアにおいて大切なのは被災された方の為にできる範囲での行動を起こすことだと。助けるなんて大きな事はできなくても、より添うような活動が少しでもできていたなら良かったな、と思います。
- ・豊中市のボランティア以外に他のボランティアの方々も半日以上活動して住宅1軒をやっと片付けられるくらいだと知り、被災地復興がいかに地道で困難なものであるかを実感しました。
- ・ボランティアの最中は必死で泥出し、がれきの運び出しを行っていました。大事にしていたのは「ガレキ・ドロ」と思って扱わないようにしていたことです。ひとくくりにガレキといっても持主の方の今までの歴史をあらわすものです。想いのこもった服を見つけた時の依頼者の方のほっとした顔は絶対に忘れないでおこうと思います。
- ・実際に現場を見て、話を聞いてみてこれだけの空間が水で埋まったのか、とか実感することでテレビでは伝わらないものの一部でも感じる事ができたと思います。



ホームページ作成グループ 「アクセス」 編



力作のホームページ☆
ぜひのぞいてみて
下さい!



現在メンバー10名で、月2回集まり活動を行っています。

活動内容は、パソコンを使って市社協ボランティアセンターのホームページ画面作成、更新、入力作業を行っています。

例えば、トップページを更新したり、東日本大震災において市社協がどのようにに関わり活動しているかの現状などを随時報告したり、各ボランティアグループの活動内容も紹介しています。また、行事・講座のお知らせやボランティアの募集依頼なども適宜掲載しており、言うなればパソコンを活用してインターネットでボランティアセンターの広報活動を行うグループです。

ボランティア活動も楽しく長く続けたいと思いませんか?メンバーの中にはパソコンで得意分野を持っている方がいますので、お互いに教えあい楽しんでいきます。

また、ホームページ作成の為にスキルアップを目標に、様々な勉強会を行っています。動画を作る、動画や写真にナレーション・音楽をつける、絵や写真入りの名刺・カレンダー作りに挑戦するなど毎回テーマを決めて学んでいます。時には高齢者施設からの依頼で、パソコンの使い方を教えに行く事もあります。

皆様のご参加をお待ちしております。

◎活動に興味のある方は・・・

☆定例会

第1・3水曜日 10時～12時
ボランティアセンター「ぶらっと」

☆お問い合わせ

豊中市社会福祉協議会 ボランティアセンター
岡上の町2-1-15(豊中市すこやかプラザ内)

☎ 06-6848-1000

FAX 06-6841-2388



ボランティアスクール入門講座

- ①6月13日(月): 講演 「はじめませんかボランティア」
講師—吉田芳子さん
- ②6月20日(月): 体験学習(車いす・アイマスク・インスタントシニア)
講師—市社協登録ボランティアグループ
「みちしるべ」「ステッキ」
- ③6月27日(月): ボランティア体験談など
講師—市社協登録ボランティアグループ「小さな手」、
蛭池校区福祉協議会、市社協登録ボランティア

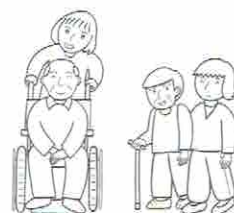
この講座は、これから活動をはじめの方を対象に『福祉の町づくりとボランティア』をテーマにして、ボランティア活動をはじめにあたっての基礎知識を3日間にわたり学んでいただく講座です。延べ22名の方にご参加いただきました。



～参加者の感想～

- ・今まで知らなかったボランティアの世界を教えてください、これから少しずつでも自分に合った活動に参加させていただきたいと感じました。

教職員のための ボランティア体験学習研修会



7月22日(金)、すこやかプラザにて「教職員のためのボランティア体験学習研修会」が行われました。この研修会は、教職員の方々に具体的なボランティア体験を实际にさせていただくことにより、総合的な学習の時間など福祉教育やボランティア体験学習を進める上での参考にすることを目的に開催しました。今年度は、豊中市内の小・中学校17名の先生方が参加されました。

【体験学習】 *2コースより選択

1コース : 車いす体験とインスタントシニア体験者の感想

- ・車椅子体験は乗っている側を体験することにより、押す側になった時どこに気をつけたら良いのかがわかった。乗ると目線が変わり、初めて気付くことが沢山あった。
- ・シニア体験は高齢者の体がどれだけ不自由なのかがわかった。白内障ゴーグルは視界がかなり狭くなり、不安に感じるが多かった。



白内障ゴーグルだと
なかなか見えないと

2コース : 点字体験とアイマスク体験者の感想

- ・初めて点字やアイマスク体験をし、発見や驚きがいっぱいだった。点字の仕組みも良くわかり読むのが難しかった。自分のできるところからお手伝いできればと思った。
- ・情報のほとんどを目に頼っていることがわかった。視覚の情報がなくても触れる、聞く、感じるなどでカバーしているのがすごいなと尊敬できた。



点字の名刺作成うまく
できているかな?

親子ボランティア講座 ～親子で探検隊～



シャンプーかな？リンスかな？



点字体験「名刺を作ろう！」

7月21日（木）、小学生の子どもとその保護者を対象に開催しました。この講座は夏休み期間に親子で共通の体験をすることで新たな気づきや発見をしていただくことを目的として開催しています。

今年度は原田老人デイサービスセンター内の[原田地域福祉活動支援センター]にて開催、6組15名の親子が参加されました。様々なボランティア体験にチャレンジし、デイサービスセンターのご利用者様との交流時は笑顔で体験の報告をしました。

【参加者の感想】

▶車椅子体験

乗ると意外にがたがたとゆれたのでちょっぴり怖かったです。でも押す方になると揺れを感じなくなり、景色もがらりと変わりました。押すのは簡単だと思っていたけど考えは甘くて、乗る方の足を乗せたりブレーキを外したり大変でした。特に段差は難しくて、楽に押しているように思っていたけど、重くて大変でした。大変だったけど、面白くて楽しかったです。

（小学4年生）

▶点字・アイマスク体験

実際に目の不自由な方の日常で困った場面を聞くことができました。又、自分がアイマスクをすることで体験することができたのも良かったです。想像するのと体験するのは全く違うので貴重な経験でした。点字を習ったことはありますが、実際に打ったのは初めてで「なるほど」と思うことが沢山ありました。

（保護者）

▶手話体験

子ども達が困った方を見かけてもどう対応してあげて良いのかのきっかけ作りにもなるのではと思い、参加させていただきました。今後、何らかの形で「ボランティア」という言葉に気持ちが動き、行動できる人になっていく一歩になったのではと思います。

（保護者）

最初は難しかったけど、覚えてくると大分わかってきて楽しくなりました。沢山覚えた中で一番難しかったのは「アメ」の手話です。でも楽しかったです。

（小学4年生）

ボランティア体験プログラム



このプログラムは、大阪府社協と市町村社協が共催で毎年実施しています。夏休みを利用して、普段はボランティアに参加しにくい学生や社会人の方にもたくさん体験していただくことができました。

今年は高齢・障害・児童などの分野から計53施設にプログラムへご協力いただき、内23施設で延べ118名の方がそれぞれ有意義な活動を体験されました。

来年度も実施予定ですので、興味のある方は「広報とよなか」等でご確認ください。（「広報とよなか」7月号に掲載予定です）

募金のお礼



<東日本大震災>

上記における義援金として3月14日～4月28日の間、街頭募金・窓口でのお預かり・募金箱の設置という方法で募集させていただきました。たくさんの皆様のご協力で15,085,409 円集まり、その内訳は街頭募金が 3,991,455 円、窓口での受付が 11,008,500 円、募金箱が 85,454 円でした。お預かりした義援金は大阪府社会福祉協議会を通じて中央共同募金会に送金しました。

また、5月1日からは支援金として窓口でのお預かりと募金箱の設置を継続しています。お預かりしました支援金は、5月-213,516 円、6月-69,080 円、7月-263,539 円、8月-20,976 円、9月-162,731 円でした。9月末までの総額は 729,842 円で全額『赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」』として中央共同募金会へ送金いたしました。 ※今後も支援金は、当面3月末まで受け付けさせていただいております。

<台風12号豪雨災害(三重県・奈良県・和歌山県)>

義援金として、募金箱を9月7日～9月30日の間、ボランティアセンターぷらっと及び福祉の店「なかま」に設置しました。多くの皆様のご協力で、5,404 円集まり、日本赤十字社大阪府支部豊中市地区を通して各被災地へ按分して送金いたしました。

～みなさまの温かいご支援、ご協力どうもありがとうございました～

～今後の予定～



★年賀状ボランティア

11月21日(月)、24日(木)、28日(月)、29日(火)、30日(水)、
12月1日(木)、2日(金) いずれも10時～12時及び13時～16時半

場所：すこやかプラザ 2階会議室

★ボランティアはじめま専科(場所はすべてボランティアセンター ぷらっと)

- ・11月24日(木) 10時～12時 友愛電話訪問ボランティアグループ 「聴くの会」
- ・12月8日(木) 10時～12時 手作り介護用品製作ボランティアグループ 「小さな手」
- ・12月16日(金) 13時半～15時 外出支援ボランティアグループ 「みちしるべ」
- ・2月1日(水) 10時～12時 ホームページ作成ボランティアグループ 「アクセス」

★災害支援訓練

1月14日(土) 9時～11時 場所：すこやかプラザ

★第19回 豊中ボランティアフェスティバル

2月11日(土) 10時半～15時半 場所：すこやかプラザ



編集後記



ご存知ですか？市社協の登録ボランティアグループは現在10グループあります。「ボランティアグループあれこれ」では毎回色々なグループを紹介しています。気になるグループがありましたら、ぜひお気軽に定例会などの見学にお越しください。(豊中アッシー)